

第1WGの主な検討課題について（案）

※ 本ペーパーに記載の検討課題は、これまでの基本計画部会における議論をとりまとめたものであり、例示である。

1 統計整備の考え方（スキーム・基準関係）

（1）統計ニーズの把握方法

- ◎ 学会等の統計利用者や政策上のニーズを適時・的確に把握する仕組みの構築

（2）基幹統計の指定基準の明確化

- ◎ 総務大臣が行う基幹統計の指定・解除に関する基準の明確化

（3）統計調査の整理合理化の考え方

- ◎ 統計調査の廃止、類似統計調査の一本化、行政記録の活用などによる政府全体の既存統計調査の整理合理化指針の策定

（4）統計の評価

- ◎ 統計評価の仕組みの創設

（5）統計基準の設定

- ◎ 統計基準についての考え方の明確化

2 統計リソースの有効活用等

（1）統計リソースの配分の在り方、有効活用

- ◎ 産業構造や政策ニーズの変化を踏まえて政府統計全体を見渡した予算・人員の適正かつ機動的な配分や有効活用方策の在り方・仕組みの構築についての方向性を明示
- ◎ 緊急ニーズ対応時の各府省の役割、予算の確保・分担の在り方等を検討・整理

(2) 実査体制（統計専任職員等）

- ◎ 地方分権の議論、統計調査の民間開放の進展などを踏まえた地方統計機構の実査体制の中長期的な在り方を検討・整理するとともに、喫緊の課題（統計専任職員の配置数の減少など）への対応策を策定

- ◎ 統計調査員の確保の困難性など現行の統計調査員制度が抱える課題への対応策を策定

(3) 統計職員等の人材の育成・確保

- ◎ 一次統計作成部局、加工統計作成部局、調整・審査部局等それぞれにおいて高度の専門性を身につけることが可能な政府全体としての研修方針を策定するとともに、総務省統計研修所の具体的な活用方策の策定

- ◎ 府省間をまたがる統計部局での人事交流の促進方針、具体的な人事交流目標の設定

- ◎ 国際会議等を舞台にした諸外国の統計専門家に伍して議論をたたかわせることのできる人材を確保・育成するため、諸外国の統計機関との人事交流などの方針、具体的な人事交流計画の策定

(4) 関係機関等（地方、学会等）との連携強化

- ◎ 地方公共団体、学会等との共同研究・人事交流など、連携強化のための具体的な計画の策定

(5) 統計機関の独立性、中立性

- ◎ 政府統一的な機密の保持等の在り方について検討・整理